

体育理論「Olympic Valuesーアスリートの視点から」池田めぐみ先生（山形県体育協会）

対象：高校1年生41名，2年生40名

本時の位置：5時間中の5時間目

授業の目標：オリンピックの話を通して、オリンピックを身近に感じ、オリンピックの価値について考えられるようになる。オリンピックを日常生活でも生かすことができるか考える。

段階	学習内容	指導上の留意点
導入	<p>1. <u>自己紹介</u> フェンシング・エペの試合映像を交えながら</p> <p>2. <u>授業の目的を確認する</u></p> <p>3. <u>オリンピックについての印象</u> 事前に準備したシートに自分の持つオリンピックのイメージや印象、東京招致活動について記入</p>	<p>自己紹介をする。 フェンシングの用具を生徒に手渡し、簡単に解説した後授業中に回覧させる。シートは事前に配布。</p>
展開 ①	<p>1. <u>オリンピックの裏側</u> <u>アテネ2004、北京2008</u></p> <p>①開会式の様子：選手村からの移動、長時間にわたる待機、入場行進、各国の選手との交流</p> <p>②選手村の様子：広大な敷地に村内バスが走っている。選手村は基本的にすべて無料。食堂はさまざまな国の料理があり、バイキング形式。1週間もいると飽きるので、捕食も充実している。国毎に宿泊棟がある。2LDKを何人かでシェアして使う。医療ルーム、情報ルーム、捕食ルーム等</p> <p>2. <u>オリンピックを経験して何を感じ、何が変わったか</u> 紛争中の国々や、肌の色やことばの違いなどを越えて、さまざまな国の人々が交流する。<u>喜び、平和</u>を実感しオリンピックに対する価値観が変わった。</p>	<p>PPTを使用し、写真を見せながら、話をする。 競技の様子だけではなく、開会式の裏側や選手村の生活等を紹介することでオリンピックを違った視点から捉えさせ、選手のみならずボランティアや運営等たくさんの人々が関わってオリンピックは成り立っていると感じさせる。 オリンピックは平和の祭典と言われる所以を話す。</p>
展開 ②	<p>1. <u>オリンピックの価値とは</u> Excellence, Respect, FriendshipのValuesに自身の経験や教材を照らし合わせて紹介。またオリンピックの価値やスポーツの力はオリンピックだけが理解するものではなく、誰でもその価値を共有することができ人生に生かせるものである。オリンピックはそれを伝える役割も担っている。</p> <p>2. <u>東京でオリンピックを開催する意義</u> 困難や試練を乗り越え、明るくpositiveな人たちが地球上から一点に集まることでパワースポットのようにみんなが元気になる空間が出現する。オリンピックの価値やスポーツの力が見直される。東京がバリアフリーになる。</p>	<p>昔、オリンピックは単なる競技会であると思っていたが、その価値観を変えるきっかけになったロゲ会長のメッセージを紹介。 またスポーツ以外の場面でオリンピックの価値が生かされた例やスポーツの力が社会にどう応用できたかについて話す。 招致について理解を深めるきっかけを与え、東京にオリンピックがきたら自分自身や身の回りにどういような変化が起きるのか想像させる。</p>
まとめ	<p>生徒各自が授業冒頭と後でオリンピックに対する印象や東京招致に対する考えがどのように変わったか（変わらなかったか）という点、またオリンピックの価値やスポーツの力を知り、それを自分の生活にどう生かせるかについて考えた点をシートに記入 本時の学習を振りかえり、学習の成果を確認する。 学習カードの記入</p>	<p>オリンピック、スポーツが自分とどう繋がっているのかを考えさせる 東京招致への考えをまとめる 学習カード、アンケート調査</p>